

平成 27 年の救急出動について

平成 27 年の救急出動件数は 554 件（不搬送 71 件）、搬送人員は 485 人でした。

区 分	計	救急事故種別					管外搬送
		急病	一般負傷	転院搬送	交通事故	その他	
出動件数	554	330	82	79	28	35	298
搬送人員	485	287	80	78	23	17	300
傷病程度	死 亡	14	13			1	
	重 症	94	48	23	20	2	83
	中等症	194	119	19	46	5	142
	軽 症	183	107	38	12	16	75
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不搬送 71 件 ・ 平成 26 年の出動件数は 555 件 						

夕張市の平成 27 年出動状況は、次のとおりです。

- 救急件数は 1 件減少しました。（平成 26 年は 555 件）
- 出動件数 554 件中、298 件が管外搬送（53.8%）です。
- 搬送人員 485 人のうち、183 人が軽症（37.7%）です。
- 軽症 183 人のうち、75 人が管外搬送（41%）されました。

平成 27 年中の夕張市の救急出動件数は、554 件（対前年比 1 件減）、搬送人員は 485 人（対前年比 26 人減）で、対前年比微減となりました。夕張市の救急出動件数のうち最も多かった事故種別は急病（330 件、59.6%）、次いで一般負傷（82 件、14.8%）でした。なお、搬送人員で最も多いのは急病（287 人、59.1%）、次いで一般負傷（80 人、15.7%）でした。また、傷病程度別にみると、軽症が（183 人、37.7%）、中等症が（194 人、40%）、重症（94 人、19.4%）となっており、前年と比較して、重症と死亡が減少していました。

全国的にみると救急出動件数は年々増加し、平成 26 年中における全国救急出動件数及び搬送人員は過去最多となっています。夕張市では件数は減少していますが、人口割合との相関では増加していると言えます。

夕張市の救急体制は高規格救急車を 2 台運用していますが、救急出動の半分以上が市外へ搬送しています。また、昨年救急車が 2 台とも出動する、いわゆる「空白の時間」が 68 回、時間では 91 時間ありました。対応できる救急要請に限りがありますので、引続き救急自動車の適正利用をお願いいたします。